

日比谷カレッジ *event schedule*

7・8月の講座

〈参加申込〉電話 (03-3502-3340) またはホームページにて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館 1 階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

7/3 (水)

トルコを知る夕べ 第一夜「トルコとトルコの文化」

講師: 鈴木 董 (東京大学名誉教授・歴史家)

今年は日本・トルコ修交100年。トルコ共和国の前身・オスマン帝国の歴史をまず通観します。そしてイスラム文化の影響下で成立したオスマン文化の特色を概観し、それが19世紀以降に近代西欧文化、とりわけフランス文化の影響下に変容し、現代トルコ文化形成に至った過程を明らかにします。(後援: 駐日トルコ共和国大使館)

■ 日時: 7月3日(水) 19:00～20:45 (18:30開場)
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

7/5 (金)

展覧会への入口講座Vol.39「朝鮮民族美術館をめぐる」ー日韓文化交流の礎となった日本民藝館のルーツ

講師: 杉山 享司 (公益財団法人日本民藝館 常務理事・元学芸部長)

朝鮮時代美術工芸を一堂に会する史上初めての展示施設であった朝鮮民族美術館(1945年閉館)。思想家の柳宗悦が浅川伯教・巧兄弟とソウルの景福宮内に開設して、今年で100年の節目を迎えます。本講座では、その足跡をたどりながら、美術館が設立された目的や意義、蒐集されたコレクションなどについて紹介します。

■ 日時: 7月5日(金) 19:00～20:30 (18:30開場)
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円

7/20 (土)

境界 戦争体験者の証言2024

語り部: 西倉 勝

戦後、ソ連軍によってシベリア・コムソリスクの収容所へ抑留された西倉勝氏。極寒での強制労働と慢性的な飢えに苦しむ生活で「故国の土を踏むまでは、白樺の肥やしになるまいぞ」を合言葉に仲間と励まし合ってきました。西倉氏は、切なる平和への願いから“戦争から生まれた悲劇”を赤裸々に語ります。

■ 日時: 7月20日(土) 14:00～15:30 (13:30開場) ■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1000円(学生500円) ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



7/24 (水)

トルコを知る夕べ 第二夜「風刺漫画から見るトルコと日本の100年」

講師: 横田 吉昭 (風刺漫画家・学術博士)

日本はマンガ大国と言われますが、今年国交100周年を迎えたトルコ共和国も実は風刺漫画大国です。その両者の展開は近代化の中で大きく異なります。トルコはフランスの影響を受けながら独自の風刺漫画が育ちました。その発展のありかを日本と比較しながら示していきます。(後援: 駐日トルコ共和国大使館)

■ 日時: 7月24日(水) 19:00～20:45 (18:30開場)
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円



8/1 (木)

日比谷図書文化館ツアー

講師: 小野田 由紀子 (女優、ナレーター)

図書館講座や常設展の見学、朗読企画のほか、ふだんの館内ツアーでは見られない閉架書庫も見学できるツアーです。

■ 日時: 8月1日(木) 10:30～12:00 (10:00開場)
■ 会場: 4階 セミナールームA(会議室)
■ 定員: 20名 ■ 参加費: 無料
(対象: 千代田区内在住・在学の中学生)
※区の公民協同推進制度により、株式会社クリエイトとの協力で実施しています。
共催: 日比谷図書文化館・千代田区・株式会社クリエイト

画像提供: 株式会社クリエイト



8/1 (木)

中学生のためのやさしい小説書き方講座

講師: 小野田 由紀子 (女優、ナレーター)
二本松 泰子 (文芸学校サブ講師)
山竹 伸一 (株式会社クリエイト取締役、文芸学校サブ講師)

キャラクターづくりや物語の組み立て方など、小説の基礎から文学賞への応募方法まで丁寧にレクチャーします。小野田由紀子氏による過去のちよだジュニア文学賞受賞作品の朗読も予定。読んで、聴いて、書いて学べる小説講座です。

■ 日時: 8月1日(木) 13:30～16:30 (13:00開場)
■ 会場: 4階 セミナールームA(会議室)
■ 定員: 20名 ■ 参加費: 無料
(対象: 千代田区内在住・在学の中学生)
※区の公民協同推進制度により、株式会社クリエイトとの協力で実施しています。
共催: 日比谷図書文化館・千代田区・株式会社クリエイト



8/8 (木) 他

日比谷オペラ塾「オペラ・あ・ら・かると bis」没後100年記念 プッチーニ特集

今回は、ジャコモ・プッチーニの没後100年を記念して、プッチーニの特集を3ヶ月にわたってお送ります。第2回は、プッチーニからも絶賛されたという歌手・三浦環や、日本の旋律を紹介した大山久子など、『蝶々夫人』をはじめとしたプッチーニと日本との関係を、萩谷由喜子氏が解説します。(主催: フェニーチェ劇場友の会)

■ 日時: 8月8日(木) 19:00～20:30 (18:30開場)
プッチーニと日本との絆
講師: 萩谷 由喜子 (音楽評論家)
9月19日(木) 19:00～20:30 (18:30開場)
プッチーニとトスカニーニとの関係
講師: 山田 治生 (音楽評論家)
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員: 60名 ■ 参加費: 1500円

ジャコモ・プッチーニ (1858-1924)



8/9 (金)

戦争の記憶を消してはいけない! PART2ー辻井喬、加藤周一、水上勉の場合ー

講師: 山口 昭男 (岩波書店元代表取締役社長)

「戦争の記憶を消してはいけない」は作家・井出孫六がよく口にしていた言葉だった。今回はその第二弾として辻井喬、加藤周一、水上勉の三人を取り上げたい。彼らは何を思い、何を後世に残そうとしたのか。また戦後生まれの私たちは、どのように戦争の記憶を伝えることができるのかを語る。

■ 日時: 8月9日(金) 19:00～20:30 (18:30開場)
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円(学生500円)
※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



8/21 (水)

マンガの“いま”を考える③マンガで育む読解力ー「読むこと」の意味を考えるー

講師: 岸 圭介 (早稲田大学系属早稲田実業学校初等部 教諭)

マンガは「娯楽」としての側面が目立ちますが、一方で多くの「学び」を与えてくれるメディアでもあります。本講演では藤子・F・不二雄による『ドラえもん』(小学館)の作品を通じて、「読解力」という観点から、マンガと活字読書との関連性について示していきます。

■ 日時: 8月21日(水) 19:00～20:30 (18:30開場)
■ 会場: 4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員: 40名 ■ 参加費: 1500円(資料代含む)



撮影: Studio 31 北村瑞斗

8/24 (土)

古書で紐解く近現代史セミナー第47回 満洲国の首都「新京」ー歴史と名所をたどるー

講師: 長谷川 怜 (皇學館大学文学部国史学科准教授)

中国・吉林省の長春は、1932年に満洲国が成立すると「新京」と名付けられ、首都として近代的な街路・建築の建設と各種のインフラ整備がなされました。本講座では、多数の画像を用いながら都市の歴史や首都整備計画のあらましを紹介し、当時の名所や旧跡について時代背景と共に解説します。

■ 日時: 8月24日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)
■ 会場: 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
■ 定員: 200名 ■ 参加費: 1000円



長春ヤマトホテル
(『南満洲鉄道株式会社第二次十年史』/ 南満洲鉄道株式会社 編 / 1928年)

From Chiyoda Public Library 【千代田区立図書館からのおしらせ】

第4回 ちよびた落語会

出演: 古今亭志ん松、春風亭昇羊、三遊亭萬都

恒例となりましたちよびた落語会。今回も気鋭の噺家3名による落語をお届けします! どうぞお楽しみに♪

主催: 千代田図書館 読書振興センター

◆ 日時: 7月13日(土) 15時～16時45分 (14時30分開場)
◆ 会場: 千代田区役所1階 区民ホール ◆ 定員: 60名(事前申込制、先着順)
◆ 申込: 6月24日(月)10時～7月12日(金)18時まで
千代田区立図書館ホームページからお申し込みください。
定員に達しない場合のみ、開演の10分前より当日券販売あり。
◆ 参加費: 1000円(全席自由)

676 802 742 886 742 886 742 886

702 736 736 770 736 770 736 770

古文書塾てらこや本講座開講

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んでいただける「古文書塾てらこや」。多種多様な講座を開催します。

	講座名	曜日・時間	実施日	
入門コース 120分 (全5回)	古文書のいろはー筆字のくずし字	(月) 10:30～	7/8	
		(月) 13:30～	7/8	
		(火) 10:30～	7/9	
		(木) 13:30～	7/11	
		(金) 13:30～	7/12	
		(金) 18:30～	7/12	
本科コース 120分 (全5回)	いろはの次ー古文書いろいろ(午前クラス)	(火) 10:30～	7/16	
		いろはの次ー古文書いろいろ(午後クラス)	(火) 13:30～	7/16
		文人画と碑文ー掛軸を読む	(日) 13:30～	7/7
		古文書の保存・修復の知技能ー古文書保存のセラピスト講座	(火) 13:30～	8/6
		武家文書を読むー幕府崩壊事情	(水) 13:30～	7/17
		幕末・江戸庶民の世相を読むー「嘉永雜記」の世界	(木) 10:30～	7/4
特別講座 90分 (全5回)	くずし字で楽しむ江戸歌舞伎	(土) 13:00～	7/13	
		大久保利通の手紙を読む	(火) 19:00～	7/9
		開国ニッポンの外国人	(水) 13:30～	7/10
		江戸を楽しむー江戸の寺社あれこれ	(木) 18:30～	7/4
特設・月1回 コース90分 (全3回)	江戸・明治の書状を読むー形式と内容、一歩から	(金) 18:30～	7/5	
		ハーバード大学本『源氏物語 須磨』の変体仮名を読む	(土) 13:00～	8/3
	陽明文庫旧蔵『百人一首』の変体仮名を読む	(土) 15:30～	8/3	

■ 会場: 4階スタジオプラス、セミナールーム
■ 定員: 各講座23名(申込順) ■ 参加費(初回一括払い): 【入門コース】16,800円(全5回/各回120分/資料代500円) 【本科コース】13,650円(全5回/各回90分/資料代500円) 【特設・月1回コース】8,190円(全3回/各回90分/資料代300円) ※特設・月1回コース『『源氏物語 須磨』の変体仮名を読む』は、『ハーバード大学本 源氏物語 須磨』(新典社 1,760円税込)を、また『『百人一首』の変体仮名を読む』は、『変体仮名翻字版百人一首』(伊藤編1,800円税込)をそれぞれテキストとして用います。(当館にて承ります。)
■ 資料請求・体験講座のお問い合わせ: 電話 (03-3502-3340) 日比谷図書文化館代表 古文書塾てらこや担当迄

特別研究室企画展示

100年後も手に取れる本にー内田嘉吉文庫修復報告2024ー

入場無料

『Im fernen Osten』(1881年) 修復: 藤井敬子

資料を「活用しながら保存する」が特徴である特別研究室では2023年度、内田嘉吉文庫をはじめとする所蔵資料7点の修復を行いました。破れた折りたたみ地図の補修など一般的な修復の他、透明フィルムが剥がれかけた洋書の表紙の改装や合冊された明治期の雑誌の分冊化など書籍修復家による創意工夫を凝らした修復過程の記録を公開します。書籍修復家・近藤理恵氏が講師を務める東洋美術学校保存修復科の学生による修復本もあわせて展示します。

● 主な展示図書(予定)
『Mandalay to Momien』(1876年) 『Im fernen Osten』(1881年)
『南満洲鉄道株式会社第二次十年史』(1928年) ほか
● 期間: 2024年7月16日(火)～9月30日(月)
● 開室時間: 平日10:00～20:00、土曜10:00～18:00、日曜・祝日10:00～16:00
● 会場: 4階特別研究室

お知らせ

7月1日(月)より日比谷図書文化館のFacebookが千代田区立図書館に統合し、統合後は当館の情報も千代田区立図書館のアカウントから発信されます。

702 736 736 770 736 770 736 770